

第3期事業年度

決算報告書

自 平成18年4月1日
至 平成19年3月31日

国立大学法人東京工業大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人東京工業大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	21,781	22,908	1,127	(注1)
施設整備費補助金	1,834	1,834	0	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	6,929	282	6,647	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	65	65	-	
自己収入	6,065	7,172	1,107	
授業料、入学料及び検定料収入	5,866	5,920	54	(注3)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	199	1,252	1,053	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	7,899	7,469	430	(注5)
長期借入金	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	-	162	162	(注6)
計	44,573	39,892	4,681	
支出				
業務費	22,210	21,736	474	(注7)
教育研究経費	22,210	21,736	474	
診療経費	-	-	-	
一般管理費	5,636	6,778	1,142	(注8)
施設整備費	1,834	1,834	0	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	6,929	281	6,648	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	7,899	6,528	1,371	(注10)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	65	65	-	
計	44,573	37,222	7,351	
収入 - 支出	-	2,670	2,670	

予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、退職手当に係る前年度よりの運営費交付金債務が繰り越されたため、予算金額に比して決算金額が1,127百万円多額となっています。

(注2) 予算段階では予定していなかった機関補助である補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が96百万円多額となっています。なお、予算段階において機関補助以外の補助金を計上した過大見積りがあるため6,743百万円少額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、受験者及び入学者の増加により、予算金額に比して決算金額が54百万円多額となっています。

(注4) 雑収入については、主として科研費等間接経費収入及び著作権・特許料収入の増加等により、予算金額に比して決算金額が1,053百万円多額となっています。

(注5) 予算段階において予定していた国からの受託研究の獲得計画に相違が生じたため、予算金額に比して430百万円決算金額が少額となっています。

(注6) 目的積立金取崩については、剰余金の残額に係る執行が計上されたため、予算金額に比して決算金額が162百万円多額となっています。

(注7) 業務費については、教育研究費において経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が474百万円少額となっています。

(注8) 一般管理費については、予算段階では予定していなかった学内の環境整備及び事業内容見直しによる一般管理費分の光熱水料等の増加、及び(注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,142百万円多額となっています。

(注9) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が6,648百万円少額となっています。

(注10) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,371百万円少額となっています。